

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2022年1月29日
明治大学の所属学部・研究科	経営学部経営学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年1月6日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	コロンビア大学 (日本語名) Columbia University (in the City of New York)(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月~2023年1月
留学先大学で在籍した学年	大学院年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 専門教育院 (現地言語での名称): School of Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 9 月上旬~12 月下旬 2 学期: 1 月中旬~5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	31,455 (2020)
創立年	1754

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	30,692	4,634,492 円	1 セメスタ-授業料、施設使用料
宿舍費	7,224	1,090,824 円	
食費	4,234	640,000 円	
図書費	662	100,000 円	
学用品費	66	10,000 円	
携帯・インターネット費	66	10,000 円	
現地交通費	331	50,000 円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,390	210,000 円	
被服費	331	50,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費		52,705 円	形態:明大サポ→明治大学海外旅行保険
渡航旅費		276,360 円	JAL
ビザ申請費		15,061 円	I-20
雑費	1,987	300,000 円	
その他	1,788	270,000 円	ボストンキャリアフォーラム旅費・ホテル
その他		円	
合計	49,267	7,439,442 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田国際空港 目的地:ジョンF ケネディ国際空港 経由地:	
復路 出発地:ジョンF ケネディ国際空港 目的地:羽田国際空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:日本航空 料金:276,360 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:https://www.jal.co.jp/jp/ja/)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:International House NYC) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

IHouse のサイトから申し込みました。(https://www.ihouse-nyc.org/)

短いエッセイや自己アピールを提出し、合格したら入居できます。私は 5 月ごろに申し込み一度で合格したのでよかったのですが、申し込みが間に合わなかった、競争率が激しく落ちてしまった、などの話を現地についてから沢山耳にしたので、早めに申し込むのを勧めます。月に一回、何度でも申し込み可能なので、落ちてしまっても何度も試してみるのがよいと思います。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

IHouse はとても綺麗で過ごしやすく、セキュリティが万全で、スタッフがとても優しいです。世界 100 カ国以上から集まる学生たちは、コロンビア大学生だけでなく音楽学校や芸術学校、社会人など様々で、国際豊かで人脈が広がります。毎日のようにイベントが開催されるのですぐ友達ができ、皆優しく温かい人たちばかりでとても仲良くなります。ダイニングホールの食事は毎日変わるので飽きず、とても美味しいです。スタディセンターやジム、バーなど全てが揃っているので大変過ごしやすいです。屋上からの景色は絶景です。South(1 人部屋)と North(相部屋)に建物が分かれており、お勧めは South です。孤立しがちな North と比べ、施設間のアクセスがよく人との距離が近いからです。



現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学周辺で事件が起こると大学のメールにお知らせが来るようになっていました。また、VIA というアプリに大学メールでログインすると乗合シャトルを無料で利用でき、授業後の帰宅時や夜に出歩く時はよく使用しました。スタッフが一緒に歩いてくれる大学のエスコートサービスも無料で利用できます。大学や寮の周りは比較的安全で、実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでしたが、近くで事件が起きた時などはよく友達が迎えに来てくれたりしました。集団行動や大学が提供するサービスを利用することで危険から逃れることができると思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

以前留学した際のSIMカード(MintMobile)の期間が残っていたので、継続して使用しました。SIMカードはターゲットで購入し、すぐに利用できました。友達と何人かで家族プランに入ると安くなるのでお勧めです。大学でのインターネット接続は安定していました。寮のWi-Fiが時々不安定になりがちでしたが、その度にすぐに新しいパスワードが支給されたので全く問題はなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを三枚ほどと現金を持って行きました。支払いはいほぼクレジットカードで行いました。また、現地で銀行口座(Bank of America)を開設しました。Zelleで友達との精算もできたのでとても便利でした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

現地ではほぼ全ての必要なものが調達できました。日本のお菓子や出汁、化粧品などは高いので、持っていくのが良いと思います。現地の友人に渡すお土産があると喜ばれます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

大学が奨学金制度で支払ってください、帰国後に大学の口座に不足分を振り込みました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Marketing		マーケティング基礎論
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies (BUSI 5020 PS sec 001)	
履修期間	09/06/22-12/12/22	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture, In-Person(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 14 回	
担当教授	Beth Hirschhorn	
授業内容	30 人の学生に教授 1 人とチューター 1 人がつき、Uris Hall で授業を受けました。内容は、基本的なマーケティングの概要とその応用についてです。具体的には、市場の要素、企業戦略、顧客と競合会社の特定方法、マーケティングミックスの基本要素(product, price, placement, promotion)、消費者行動の調査方法、及び価格設定戦略について理解することを目標に、ケーススタディプロジェクトを幅広く使用する授業となっています。	
試験・課題など	何十パーセントものリディングとケーススタディの課題が毎週課され、グループプレゼンテーションが 2 回ありました。試験は、小テストが 5 回と期末試験が 1 回ありました。予習と復習は必須で、課題や小テストによって毎回の授業がすぐに身につくよう設定されていました。	
感想を自由記入	学生がいかに効率よく学ぶことができるのかをよく考えてくださる教授で、教授たちの講座(というものがあることにも驚きました)で習ったことを進んで実践しており、最良の指導メソッドを導入していました。授業では、良いまたは悪いマーケティングの例として多くの企業について学び、より良い会社にするための知識を得ました。内容も皆が楽しめるようなものにしようと工夫されており、例えばサッカー W 杯を利用した各企業の広告の比較など、タイムリーなものも多かったです。ドミビルサの広告を見て企業側の裏の意味を読み取ったり、ネットフリックスの業績を伸ばすための解決策を自分たちで考えて提案したりなど、とても面白かったです。ハロウィーンの日には教授からお菓子が配られ、アメリカな文化が味わえました。昔のビジネススクールの建物で少人数で受講し、友達もできました。授業では毎回必ず一度は手をあげて発言するようにしました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Managing Human Behavior in the Organization	組織における人間行動論、その管理論
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies (BUSI 5010 PS sec 001)
履修期間	09/06/22-12/12/22
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture, In-Person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 13 回
担当教授	Young Mi Park
授業内容	40 人の学生に教授 1 人とチューター 1 人がつき、Seeley W. Mudd Building で授業を受けました。経営上の問題を解決するための概念の適用に重点を置き、組織における人間の行動を理解することに集中して、経営と組織理論の主要な概念の知識を身につけました。この授業では、従業員に動機を与え、専門的な対人関係を確立し、リーダーシップの役割を果たし、業績評価を実施するスキルを身につけることを目標にしています。
試験・課題など	予習として、毎回百ページほどのリーディングが課されました。個人では、大きなレポート課題(主にケーススタディ)が 3 回ほど、グループでは、グループプレゼンテーションが 2 回ほどありました。小テストが 5 回ほどありましたが、中間、期末とも試験はありませんでした。
感想を自由記入	人間は組織内においてどの状況でどう動くのか、どうすれば従業員のモチベーションを上げられるのか、など興味のある内容の授業を履修できてとても嬉しかったです。毎週グループワークの時間があり、どこで話し合っても良いため廊下でお菓子を食べながら会議をするなど日本との差に驚きました。授業中に実際に立ち上がって心理と行動の関係を体感したり、著名人を講義に呼んだり、学生の中で話したいことがある人が講義をしたりなど、ただ座ってレクチャーを受ける日本の授業とは大きく違いました。挙手しないと単位がもらえないシステムで、私は毎回の授業で一回は必ず発言するようにしていました。ルレモンのケーススタディの課題が重く、ホストキャリアフォーラムと重なってしまって間に合いそうになかった時、期限を 1 週間伸ばしてもらいました。大学公認で、どの授業でも 1 学期に何回か使えるそうで、日本にはないとても良いシステムだと思いました。教授の作った心理テストを受けることが何回もあり、教授の研究の実験資料としても使われていて驚きました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Entrepreneurship	起業論
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies (BUSI 5030 PS sec 001)
履修期間	09/06/22-12/12/22
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture, In-Person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 14 回
担当教授	Michael McGuire
授業内容	30 人の学生に 1 人の教授がつき、Schermerhorn Hall Extension で授業を受けました。起業家精神に関心があり、業界の CEO、創設者またはリーダーになる学生向けに設計された授業で、起業家の旅、創業者と共同創業者、ピッチの芸術、機会の形成、伝統的なビジネスモデル、より大きな利益のためのビジネスモデル、無駄のないスタートアップ手法と仮説駆動型アプローチ、技術戦略、製品テストが含まれている内容となっていました。
試験・課題など	予習として百ページほどのリーディングと Wall Street Journal の購読が毎週、CV とリフレクションレポートが各 1 回、ビジネスケーススタディ分析レポートが 3 回(うち個人レポート 1 回、グループレポート 1 回、グループプレゼンテーション 1 回)が課されました。中間試験はなく、授業内に数回抜き打ち小テストがありました。期末試験はグループ課題の Deck と Pitch で評価され、本物の投資家たちを招いて行われました。1 回以上 Office Hour に行くことが単位取得の要件にありました。
感想を自由記入	この授業は私の一番好きだった授業です。学期を通してグループワークが多いので友達で沢山でき、少人数で和気藹々とした雰囲気でした。教授がとてもやさしくフレンドリーな方で、クラス全員の名前と顔を覚えているというので、クラスメートと 20 ドル賭けてみんなの名前を当ててくれました。結果 1 人だけ思い出せず、教授は 20 ドル失いましたが、勝った子が次の週にその 20 ドルでお菓子を買ってきてくれ、皆で食べながら授業を受けるなど、学生同士や教授との距離がとても近いクラスでした。教授がクラス全員をレストランに連れて行くことも何回かありました。授業中は冗談や笑いが飛び交う中、頭の切れる発言や新しい意見が次々として出され、刺激が多かったです。私も毎回発言をしていました。より良い起業家になるために何をすれば良いのかという広い範囲から、商品のモデルや企業してから数年間の支出と収入の計算結果などの細かい範囲まで、毎週習った内容を実践的に使うことで身につけられる授業となっており、とても面白かったです。期末試験では実際に本物の起業家たちの前で発表し、自分たちのアイデアをいかにして売るかという力が試されました。ピッチ後はその投資家たちも一緒にレストランで食事をし、クラスメートとお別れパーティをしました。努力の結果最高位の成績を収めることができ嬉しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Market Intelligence: The Art and the Science	マーケットインテリジェンス:芸術と科学
科目設置学部・研究科	Business School (MRKT 8656 B sec 001)
履修期間	09/04/22-12/10/22
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture, In-Person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 195 分が 13 回
担当教授	Kamel Jedidi
授業内容	学生 70 人に教授 2 人とチューター 1 人がつき、Kravis Hall で授業を受けました。ビジネススクールの授業で、内容はマーケティングリサーチについてでした。具体的には、定性データと定量データの収集方法、効果的なアンケートの作成方法、効果的なディスカッションの回し方、データからの考察、R プログラミングデータの統計、ケーススタディなどがありました。
試験・課題など	何十ページものリレーティング予習と、ケーススタディの課題が毎週課されました。グループワークの進捗状況を数回報告し、期末試験は最終報告プレゼンテーションでした。中間試験は個人で選択問題と計算問題がありました。
感想を自由記入	コロンビア大学に留学に来たからには、どうしてもこの有名なビジネススクールの授業をとってみたいと思い、他学部履修しました。しかし内容が難しすぎて、何回もの試験と面接を経て入学してきた他の大学院生について行くのに必死で、後悔した時期もありましたが、内容はとても面白く、専門的な知識が大変身についたと思います。グループワークでは、実際に 1 企業の CEO と話し合いを何回も重ね、リサーチ分析でその企業の壁や問題点を見つけ出して解決策を講じ、提案するというコンサル的なことを学期を通して行いました。自分の案が企業の改革として採用され、業績が上がると嬉しかったです。プログラミングや専門的な内容で大変苦勞しましたが、努力した分だけ最後良い成績を収められたことは自分にとって大きな成長になりました。クラス内には CEO が沢山いて、皆人脈を広げる場としても使っていて驚きました。ビジネススクールの新しい建物がとても快適でおしゃれでお気に入りの場所でした。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	大学入学
	8月～9月	英語語学試験勉強
	10月～12月	留学・奨学金の選考・出願
留学開始年	1月～3月	ビザ申請・取得、航空券購入
	4月～7月	予防接種、滞在先確保、スタンフォード大学留学開始
	8月～9月	コロンビア大学留学開始
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由は、世界トップのコロンビア大学で授業を受けてみたかったからです。また、ニューヨークという様々な異なる人種や文化を持つ人々が集まる場所に住んでみたいと思ったからです。アートやミュージカル、ビジネスや食、ファッションなど全てにおいて世界の中心であるニューヨークの街に魅力を感じたのも理由の一つです。

インターナショナルハウスでの生活はととても快適で心地よく、ご飯も美味しかったです。ほぼ毎日イベントが開催されるのですぐ友達ができました。スタッフや住居者は皆優しく、とても仲が良かったです。学生たちは世界 100 カ国から集まっており、様々なバックグラウンドや文化を持つ多くの人々と交流できたことで、視野が広がり自分の価値観や先入観を問いただす良い機会となりました。コロンビア大学生だけでなく、音楽学校や芸術学校、医学大学の学生や社会人(外ホリタン美術館の職員や国連職員)もいたため、様々な人と関わることができました。プロのバイオリニストやチェリスト、歌手が寮内コンサートを開いてくれたり、オバマ前大統領の元秘書が講演に来てくださったりました。パーティもよく開催され、寮生の交流の場となっていました。

コロンビア大学での勉強は、とにかく量が多くて初めはびっくりしましたが、内容はとても面白くためになるものばかりで、やりがいはありました。大学院なので日本語でもわからないような高度な内容ばかりでしたが、人生で一番勉強したと言えるほど頑張った結果、良い成績を取れたのは自分にとって大きく成長できたことだと感じています。試験前は朝から晩まで図書館が学生で埋め尽くされていたり、期末試験中に皆で叫ぶ日があったりなど、コロンビア大学ならではの光景を目にできてとても面白かったです。教授との距離がとて近く、教授にジョークを言ったり、揶揄したりする学生もいれば、授業や試験後に教授の奢りで皆でレストランに行く時もあり、アメリカの教授のフレンドリーさに驚きました。

コロンビア大学では人脈がととても大切にされていて、speed friending というイベントで SNS を交換しあったり、大学の生徒専用サイトで繋がって面会したりなど、人脈を広げる機会が多くありました。実際、学生の中でも社長やモデルなどが多く、人脈のために入学する人も多いそうです。

勉強だけでなく、遊びや楽しみにも全力投球できました。平日は勉強する代わりに、休日はニューヨーク観光を楽しみました。20 以上の美術館に行ったり、15 以上のミュージカルを観たり、リンカンセンターでニューヨークシティオペラ、外ホリタンオペラ、NY フィル、カーネギーホールで音楽鑑賞など、自分の趣味を思う存分楽しみました。大学や寮がスポーツ試合やミュージカルのチケットをくれるので、NBA、ヤンキース、ホッケー、アメフト、サッカーなど、無料で沢山観に行くことができました。バスケの渡邊選手とサッカーのエムバップ選手を見れた時は感動しました。ハロウィンや Thanksgiving Parade、クリスマス、New Year Countdown など様々なイベントがあり、街はいつも活気にあふれていました。

ニューヨークでの普段の生活は、夜を中心に回っていました。授業はほとんどが夜から始まり、その後復習をしてから友達と夜中話したり遊んだりすると、起きるのは昼ごろになってしまいます。試験期間は友達と一晩中起きて勉強したこともありました。初めは驚きましたが、周りが皆そのような生活習慣なので、気づいたら慣れていました。NY は "the city that never sleeps" と言われているので、住んでいる人もそうなのかと思いました。普段は地下鉄を使用していました。とても汚くネズミもいますが、慣れます。ご飯は日本食以外はととても美味しく、特にイタリアンと中華料理は世界一のレストランが集まっています。食費は嵩みますが、ぜひ色々な国の美味しい料理を試してみるべきだと思います。

人々は皆優しく、フレンドリーでした。クラスメイトのお家に招待されたり、友達のお家のパーティに何度か招待されたりしました。1 人でのニューヨーク留学はととても不安が多かったのですが、沢山の方々に支えられ、無事に帰国できました。現地でできた友達や、日本人の友人たちには本当にいつも助けられて、感謝してもしきれません。親友もでき、帰国前夜に Farewell party を開催してくれ、空港まで車で送ってくれるなど、本当に優しい人々ばかりでした。はじめは日本人 1 人でととても不安でしたが、ニューヨーク紫紺会の皆様にも温かく迎えていただき、とても嬉しかったです。人と人との出会いはととても大切なもので、それを気づかせてくれたのがこの留学と言えると思います。この感謝の気持ちを忘れずに、今後とも精進して参ります。

ニューヨークは、機会とエネルギーに満ち溢れていると思います。大企業の採用担当の方に声をかけていただきニューヨークオフィスを見学しに行ったり、レストランで同じテーブルになった方がオリンピックのある競技の会長だったり、ということがよく起こります。街を歩いていてたまたま話をしたら名刺を渡され、ぜひうちで働かないか、とオファーを受けるということもありました。ニューヨークにいと多くの機会が降ってきます。また、世界の中心であり、何度行ってもまた行きたいと思える、なぜかわからないけれど強い魅力を感じる、そんな場所がニューヨークです。

留学しようか迷っている人は、ぜひ、勇気を持って挑戦してみてください。そして現地で様々な人と関わり、自分の視野を広げ、将来への機会を沢山掴んで欲しいです。応援しています。質問などがあればいつでも受け付けます。